フェノールフタレイン試液　フェノールフタレイン１ｇ（0.5～1.4g）にエタノール100mLを加えて溶かす。
フェリシアン化カリウム　$K_3Fe(CN)_6$〔フェリシアン化カリウム（赤血カリ）、特級〕
フェリシアン化カリウム試液　フェリシアン化カリウム１ｇ（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、10mLとする（0.33mol/L）。用時調製する。
フェーリング試液
銅液：硫酸銅34.66g（34.655～34.664g）に水を加えて溶かし、500mLとする。共栓瓶にほとんど全満して保存する。
アルカリ性酒石酸塩液：酒石酸カリウムナトリウム173g（172.5～173.4g）及び水酸化ナトリウム50g（49.5～50.4g）をとり、水に溶かし、500mLとする。ポリエチレン瓶に保存する。
用時両液の等容量を混和する。
フェロシアン化カリウム　$K_4Fe(CN)_6 \cdot 3H_2O$〔フェロシアン化カリウム（黄血カリ）、特級〕
フェロシアン化カリウム試液　フェロシアン化カリウム１ｇ（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、10mLとする（0.25mol/L）。用時調製する。
フォリン試液　タングステン酸ナトリウム20g（19.5～20.4g）、モリブデン酸ナトリウム５ｇ（4.5～5.4g）及び水約140mLを300mLのフラスコに入れ、これにリン酸（17→20）10mL及び塩酸20mLを加え、すり合わせの還流冷却器を付け、10時間緩やかに煮沸する。次に、硫酸リチウム30mLと水10mLを加え、さらに、臭素ごく少量を加えて濃緑色の溶液を黄色とし、冷却器を付けず15分間煮沸して過量の臭素を除く。放冷した後、水を加えて200mLとし、ガラスろ過器でろ過し、塵が混入しないようにして保存する。この溶液を原液とし、使用するとき、所定の濃度に水で薄める。
n-ブタノール　$CH_3(CH_2)_2CH_2OH$〔n-ブチルアルコール（n-ブタノール）、特級〕
ブタノール、イソ　$(CH_3)_2CHCH_2OH$〔イソブチルアルコール（イソブタノール）、特級〕
ブタノール、第二　$CH_3CH_2CH(OH)CH_3$〔第二ブチルアルコール、１級〕
フタル酸水素カリウム（標準試薬）　$C_6H_4(COOK)(COOH)$〔容量分析用標準試薬〕
フタル酸水素カリウム、pH測定用　$C_6H_4(COOK)(COOH)$〔pH測定用〕
フッカーの染色液　0.037mol/Lの塩化メチルロザニリン・エタノール試液及び0.07mol/Lのシュウ酸アンモニウム試液を混和し、一夜放置した後、ろ過する。遮光した容器に保存する。
フッ化水素酸　HF〔特級〕　HF46.0%以上を含む。
フッ化ナトリウム　NaF〔特級〕
フッ化ナトリウム（標準試薬）　NaF〔容量分析用標準試薬〕
ブドウ糖　$C_6H_{12}O_6$〔日局〕
フルオレセイン　$C_{20}H_{12}O_5$〔特級〕
フルオレセイン・エタノール試液　フルオレセイン50mg（49.5～50.4mg）にエタノールを加えて溶かし、100mLとする。
ブルーテトラゾリウム　$C_{40}H_{32}Cl_2N_8O_2$〔３，３′-ジアニソール-ビス〔４，４′-（３，５-ジフェニル）テトラゾリウムクロリド〕〕　淡黄色の結晶で、メタノール、エタノール及びクロロホルムに溶けやすく、水に溶けにくく、アセトン及びエーテルにほとんど溶けない。
融点　約245℃（分解）
分子吸光係数　60,000以上（252nm，メタノール溶液）
ブルーテトラゾリウム試液、アルカリ性　ブルーテトラゾリウムのメタノール溶液（１→200）１容量に、水酸化ナトリウムのメタノール溶液（３→25）３容量を加える。用時調製する。
プロテオーゼペプトン　淡黄色の粉末又は粒子である。
乾燥減量　３%以下（１g，85℃，１時間）
溶解性　本品の溶液（１→100）を121℃で15分間高圧蒸気滅菌するとき、不溶物を認めない。
pH　本品の溶液（１→100）を121℃で15分間高圧蒸気滅菌するときのpHは、6.5～7.5でなければならない。
n-プロパノール　$CH_3CH_2CH_2OH$〔n-プロピルアルコール（n－プロパノール）、特級〕
プロパノール、イソ　$(CH_3)_2CHOH$〔イソプロピルアルコール（イソプロパノール）、特級〕
プロピオン酸ナトリウム、定量用　C_2H_5COONa　白色の結晶、結晶性粉末又は顆粒で、臭いはない、又は僅かに特異な臭いを有する。
溶状　本品1.0g（0.5～1.4g）に水20mLを加えて溶かしたとき、溶液は、無色で、微濁である。
乾燥減量　0.5%以下（１g，110℃，３時間）
含量　99.0%以上
ブロムクレゾールグリーン　$C_{21}H_{14}Br_4O_5S$〔特級〕　変色範囲pH（黄）3.8～5.4（青）
ブロムクレゾールグリーン試液　ブロムクレゾールグリーン0.05g（0.045～0.054g）にエタノール100mLを加えて溶かす。必要ならば、ろ過する。
ブロムクレゾールグリーン・メチルオレンジ試液　ブロムクレゾールグリーンのエタノール溶液（１→1,000）80mLにメチルオレンジのエタノール溶液（１→1,000）20mLを加える。
ブロムクレゾールグリーン・メチルレッド試液　ブロムクレゾールグリーン0.15g（0.145～0.154g）及びメチルレッド0.1g（0.05～0.14g）をとり、無水エタノール180mLを加えて溶かし、水を加えて200mLとする。
ブロムクレゾールパープル試液　ブロムクレゾールパープル1.6g（1.55～1.64g）をエタノール100mLに溶かし、２mol/L水酸化ナトリウム試液でpH7.5（青紫色）に調整する。
N-ブロムコハク酸イミド　$(CH_2CO)_2NBr$〔特級〕　白色の結晶粉末でアセトンにやや溶けやすく、水及び氷酢酸に溶けにくく、四塩化炭素に極めて溶けにくい。
融点　約175℃
ブロムチモールブルー　$C_{27}H_{28}Br_2O_5S$〔特級〕　変色範囲pH（黄）6.0～7.6（青）
ブロムチモールブルー試液　ブロムチモールブルー0.1g（0.05～0.14g）に希エタノール100mLを加えて溶かす。必要ならば、ろ過する。
ブロムチモールブルー・炭酸ナトリウム試液　ブロムチモールブルー0.15g（0.145～0.154g）及び無水炭酸ナトリウム0.15g（0.145～0.154g）に水を加えて溶かし、100mLとする。
ブロムフェノールブルー　$C_{19}H_{10}Br_4O_5S$〔特級〕　変色範囲pH（黄）3.0～4.6（青紫）
ブロムフェノールブルー試液　ブロムフェノールブルー0.1g（0.05～0.14g）に希エタノール100mLを加えて溶かす。必要ならば、ろ過する。
フロログルシン　$C_6H_3(OH)_3 \cdot 2H_2O$〔特級〕
フロログルシン塩酸試液　フロログルシン0.1g（0.05～0.14g）をエタノール１mLに溶かし、塩酸９mLを加え、よくかき混ぜる。暗所に保存する。
噴霧用ドラーゲンドルフ試液　ドラーゲンドルフ試液、噴霧用の項に定める。
ヘキサン　C_6H_{14}〔n-ヘキサン、特級〕　ビタミンD定量に用いるn-ヘキサンは、一般試験法のビタミンD定量法に定めるところによるものとする。
n-ヘキサン、吸収スペクトル用〔n-ヘキサン、特級〕　水を対照液とし、吸光度を測定するとき、波長220nmで0.10以下、260nmで0.02以下であり、かつ、波長260～350nmにおいて、特異な吸収を認めないものとする。
ペクチン　植物体の非木質化組織に特有の酸性多糖類で、ペクチン酸の一部がメチルエステル化された構造をしており、無色、無臭及び無味の非晶質性物質である。５℃以下で保存する。
ペプトン、カゼイン製　灰黄色の粉末で、特異な臭いがあるが腐敗臭はない。水に溶けるが、エタノール及びエーテルに溶けない。
消化度
①　本品１ｇ（0.5～1.4g）に水10mLを加えて溶かし、試料溶液とする。この試料溶液１mLに、希エタノール10mLに氷酢酸１mLを加えた溶液0.5mLを層積するとき、界面に輪帯又は沈殿を生じない。また、この溶液を振り混ぜるとき、混濁しない。